

*** ただ者ではない * 受講者募集**

(今回は英語の講義のみ)

勉強を最優先し・継続力が有り

受験英語は出来

本気には本気で応える人

最初に一言。僕は英語にまで余計なちょっかいを出している数学者ではありません。TOEFL/TOEIC 満点で、二つ目の博士論文（英語教育）執筆中です。

http://aoitani.net/TOEFL_iBT.html

過去 8 年間、起こり続けて居る現象が有ります。それは、なまくらと脱落。毎学期 3 割近くが途中で脱落し、2 学期目以後も継続する人はせいぜい 2 割です。

しかし、大量学習と継続学習無しに英語が身に付く訳も有りません。

1. 最初に面接をし、講義内容・宿題・受講態度・勉強法の説明をし、
2. 先進経済圏最下位（47 位）の日本の大学教育に付いて話し、
3. 単独世界最下位の日本人の Speaking（TOEFL iBT で 15 点）に付いて話し、
4. 日本平均と同じ京大生の Speaking（TOEFL iBT で 15 点）に付いて話し、
5. 誓約書を出して貰い、
6. 網羅的な語彙集・表現集を渡し、ネットでただの教材を山程提供し、
7. 毎週作文の添削を行い、
8. 様々な能力の試験で全体的且つ相対的実力診断を行う、

万全の支援体制も、受講者が怠慢で継続性も無いのでは、全く時間の無駄です。

特に 8 番の実力診断は、これに基いて以後の各自の勉強の方向性を決めるのに、1 学期だけでは、診断の意味が半減します。現在の実力を知るのは大変良い事ですが、それを踏み切り板としたジャンプと言う次のフェーズが無いからです。

これまでのなまくらな日本の大学生の勉強法で英語力が身に付いた人はほぼ一人も居ないので、勉強態度や学習法が旧来と変らない時点で問題外です。

現行の学期初めの15分面接だけでは到底不十分との強い認識に達し、又、受身で待つだけでは真つ当な受講者が集まらないとの考えから、現時点で既に後期の受講者をリクルートし面談も行う事にしました（英語の講義は、月・火・金の5限：この内どれかを取る）。入学直後の一回生が圧倒的に多かったこれまでのクラス。「鉄は熱い内に打て」との **philosophy** その物には間違いが無かったとしても、全般的・総体的に見れば、このやり方が良い結果を生まなかったのは明らかです。

もう少し幅を広げ、もっと自主自律の精神と覇気に満ちた受講者を募ります。

1. 面談をし、説明会を開き、
2. 教材を見て貰い、可能なら勉強会等にも参加して貰い、
3. 僕の知識や考えや方法を説明し、
4. 講義内・講義外で何をするのかを詳説し、
5. 教員からは何を期待でき、学生は何を求められているのかを明確にし、
6. どの様な実力の伸長が望め、どの様な効果を夢見てはいけないのかを説明し、

全て納得尽くで講義を取って貰う努力を、これまで以上にしようと思うのです。

僕がいつも言う様に、大人の英語学習は基本的に意識的な勉強です。意識的・組織的努力によって、意識しなくても英語が操れる様になる（自動性＝automaticity）と言うのが、大人の英語学習の正しい戦略・道筋です。

従って、本来勉強が得意な筈の京大生が出来ないなら、日本人は誰も出来ません。少なくともこの京大生（青谷正妥（あおたにまさやす））は、受験英語から這い上って、最終的には一応出来たので、水先案内になろうとしているのです。

僕の努力が空回りしない様な、「本気には本気で応える」勉強家を求めます。先ず、075 753 2568 に電話を下さい。夜も居ますが出入りが激しいので何度も掛けて下さい。

京都大学国際交流センター 准教授

青谷正妥（あおたにまさやす） 〇

aotani@aotani.net（電話をする前に email を送らないで下さい。）

<http://aotani.net/>

さて、雑談に見える非雑談を。

『グレシャムの法則』（Thomas Gresham, 1519年 - 1579年11月21日）

「悪貨は良貨を駆逐する」"Bad money drives out good."（注：Wikipediaによると、コペルニクス（Nicolaus Copernicus）等、他の人達も気付いて居た原理だった様です）と言われ、例えば金の含有量の多い硬貨は使用を控えて手元に置いておこうとするので、悪貨・劣貨（同じ貨幣価値だが金の含有量の低い物）が主として流通するのだと教科書には書いて有ります。

経済ではこれはこの通りでしょうが、教育・学問に関しては、良貨が有ればそれが主流と成って流通し、本来であれば「良貨が悪貨を駆逐する」"Good drives out bad."となるべきでしょう。

しかし、茂木健一郎さんも仰って居る様に、俺々詐欺の様に、汗水垂らさずに簡単に儲かれば人は直ぐにそっちに流れて行きます。それでも、本当の大富豪になろうと思ったら、額に汗して人が遣らない事等を遣るしか無いのですが、そこまでのやる気も無いと言う感じの人間が多いです。（青谷注：僕自身も含め、人は利潤追求の為に頑張るべきだと言って居るのでは全く有りません。これは単に「水は低きに流れる」の一つの例です。）

大学も然り、兎に角京大を出ればそこそこの就職が出来てそこそこの暮らしが出来ます。在学中主に遊んで居てもです。これは専門の勉強に付いても英語に付いても同様です。本当に大成功したかったら専門も英語も出来た上で人間力も無ければならないのですが、そこまで上を目指す程の覇気の有る人も、そんなには居ません。

しかし、僕が更に驚くのは、「学者トラック（track＝軌道。要するに学者予備軍。）」の筈の理学部の学生でも、その多くが全く勉強しないと言う事実です。

例によって話が非線形で、極端に蛇行しましたが、何れにせよ、

1. 今のままではいけないが、

2. 大勢・体制＝全体を直ぐに変えるのは不可能である

と強く感じます。

そこで取り入れたいのが、アメリカ等に有る **gated communities** の考えです。

『Gated Community』

Gated Community とは、壁やフェンスで周囲を囲んであり、門番が居てそこでのセキュリティチェックをクリアした人（主に住人）だけが入れる住宅街で、安全性、プライバシーの確保、エリートとしてのその **community** への帰属意識とプライド等を売り物とする住環境です。賛否両論が有る様ですが、南カリフォルニアでは、50%以上の人々がいつかそういう環境で暮らしたいと考えて居るようで、人気は上々です。

青谷正妥（あおたにまさやす）のアイデアは自分のクラスを良い意味での **gated community** にする事です。我々の **Gated Community** は、勉強を本気で遣る人間のエリート集団です。帰属意識とかプライドとか、そんな物はどうでも構いませんが、勉強を本気で遣る人達が高い目的意識と真摯な努力を旗印に集まって居る様な、そういう集団です。

本気で勉強する人達は、肩身が狭かったり友達が出来なかったり、残念ながら、これが現在の京大の状況です。しかし、実際に勉強をする人間は確かに存在する訳で、そういう人間の **community** を作りたいのです。

そういう人間を集めれば、自ずと授業・訓練のレベルも上がり、提供する教材は存分に利用され、学生側から見ても、教員側から見ても効果と効率を追求する大学の講義の本来有るべき姿が具現されると思うのです。

幸い、流石は京大と言うべきか、勉強を本気で続ける人達には、優秀で強い遺伝子プールが有り（比喩的表現）、そういう意味では **endangered species**（絶滅危惧種）ではないとしても、現時点では圧倒的な少数民族（**absolute minority**）である彼等に活躍・躍進の場を与えると言うアイデアは、あまりにも真っ当です。

『学生の定義』

大辞林は「学校で勉強する人。主に、大学で勉強する人をいう。」、大辞泉では「学問をしている人。特に、大学生。」、広辞苑は「学業を修めるもの。特に、

大学で学ぶもの。」と「学生」を定義して居り、入学試験に合格し、その大学の学生証を持って居るからあほでも怠け者でも学生なのではありません。

真摯に学ぶ姿勢を持った、本来メインストリームであるべき人間が、少数派と言う事実だけを理由に **marginalized people** (社会の隅っこに追いやられた人々や社会から取り残された人々。例えば難民。ここでは勉強・学問的難民。) になったら、日本も終わりです。数が多いから正しいのではない！正しいから正しい！

そう言う意味で、真面目に学習する、それこそ定義通りの学生が集う学習の場、人生の最終目標が学問であれ、人道支援であれ、合法的で正当なスタイルの金儲けであれ、学生である間は学生が為すべき事を為す人間が集う場、それが僕の講義であって欲しいのです。

当然専門の勉強が先ず有って、その上での英語ですので、勉強時間を見付ける所から始まって、全てが大変です。しかし、専門の勉強その物にも、又卒業後に専門の知識・技能を生かすのにも、今や英語での受信発信が不可欠ですので、逃げる訳には行かないのです。

ところで、特に理系の人達に一言。英語にせよ国語にせよ、文系の科目が出来ない理系のスターは稀です。彼等の殆どは勉強系・学問系で、好みは理系でも、少なくとも頭脳を要する事なら大体出来るのです。『理系だから英語は*好きではない*』(僕自身も、どちらかと言うとそうです) には何の問題も有りませんが、『理系だから英語は*出来ない*』は、何の言い訳にもなって居ません。『理系*だから*』出来ないのではありません。理系・文系に拘らず、『*アホだから*』 and/or 『怠け者だから』出来ないのです！ところで、非常に小さなスケール且つ遥かに低いレベルで言うと、青谷正妥 (あおたにまさやす) もある程度までは勉強系・学問系です。

最後に、標語群を出しておきます。

夢でも理想でもなく妄想

決死の覚悟で頑張らずに出来る様になる訳が無い。楽しみながら事を達成出来る程人生は甘くない。毎日遊び回る大学生が「英語の運用力を付けたい」等と考えるのは、単なる『妄想』であり、『夢』でも『理想』でもない。

NSC (吉本総合芸能学院 New Star Creation ではない。)

勉強をするのは今しかない。人生は一度しかない。鈍（なまく）らにせよ、規則違反（含宿題提出の遅れ等）にせよ、一度それが有ればクビ。色々な意味で二度目のチャンス・やり直しは無い。つまり、『厳しさの大切さ』の再認識。

NSC = No Second Chance

No Way

如何に NSC を標榜しても、英語の間違いは修行中の人間には当然です。大事な事は間違いから学ぶ事。つまり、同じ間違いを繰り返さない事です。尤も、上記 NSC のカテゴリーの事柄は、心構えや気構えの問題ですが、こっちの方は無意識的要素も絡まるので、非常な困難を伴います。実際には、『間違いを繰り返さない為に、繰り返し練習をする』と言う感じでしょうか。

No Way = Nido to Onaji koto wo WAtashi wa Yarimasen

CHIKS（発音は同じだが、**chicks** であれば、（男が）主に若い女を指して使う言葉の複数形。あまり品の良い言葉ではないが、ここではネタ。）

事実・真実・現実を否定しない。それらを確実に認識し、あるがままに曝け出すところから向上が始まる。例えば、日本人の TOEFL iBT に於ける **Speaking** のスコアは 15 点で単独世界最低。京大生の平均スコアも日本平均と同じ。日本の大学教育は極最近先進 47 経済圏で最下位の 47 位になった事が有る。こう言う状況の認識・開示が有ってこそ、向上し始める事が出来る。都合が悪いから隠しておくのではない。都合が悪い事や、未だ出来て居ない事こそ公に曝け出す！

CHIKS = CHI ぶも **Ka** んぶも **Sa** らけ出す = 恥部も患部も曝け出す！

御待たせしました。

YWCA = Yes, We CAn.

終了！

京都大学国際交流センター

青谷正妥（あおたにまさやす）♂

075 753 2568（内線：2568）

aotani@aotani.net（電話をする前に email を送らないで下さい。）

<http://aotani.net/aotani-KKyoto.html>

<http://ameblo.jp/aoitaniblog/>

人類最悪

銀河系最低

日本人（国籍別）の Speaking セクションの平均スコアも、日本語話者（母語別）の Speaking セクションの平均スコアも、共に 30 点中 15 点で単独世界最低です。京大生の平均が完全に日本人の平均と同じになったのは、偶然かも知れませんが、僕のクラスを取る人、又 TOEFL iBT を受ける人は、英語に関しては意識が高いので、京大生全体の平均だともっと低いでしょう。下表は日本人と京大生の点数比較です。

	読む	書く	聞く	話す	総合
日本人	16	18	16	15	65
京大生	23	22	19	15	78

例えば、最低点を公式には求めない Princeton 大学大学院の入学者の*平均*は：

Reading: 29 点、Listening: 28 点、Speaking: 24 点、Writing: 27 点、Total: 108 点

となって居ます。

MIT の建築史は最低 115 点を要求しますし、UCLA は Speaking セクションで 24 点を求めて居ます。

浮かれて遊び呆けて居る場合ではないのです！

大学教育ランキング: 先進 47 経済圏

EDUCATIONAL INFRASTRUCTURE

8.25

UNIVERSITY EDUCATION

日本はブッチギリで単独最下位！！

University education

出鱈目な講義！

有名なスイスの IMD という格



鈍らな学生！

付け機関のランキングです。

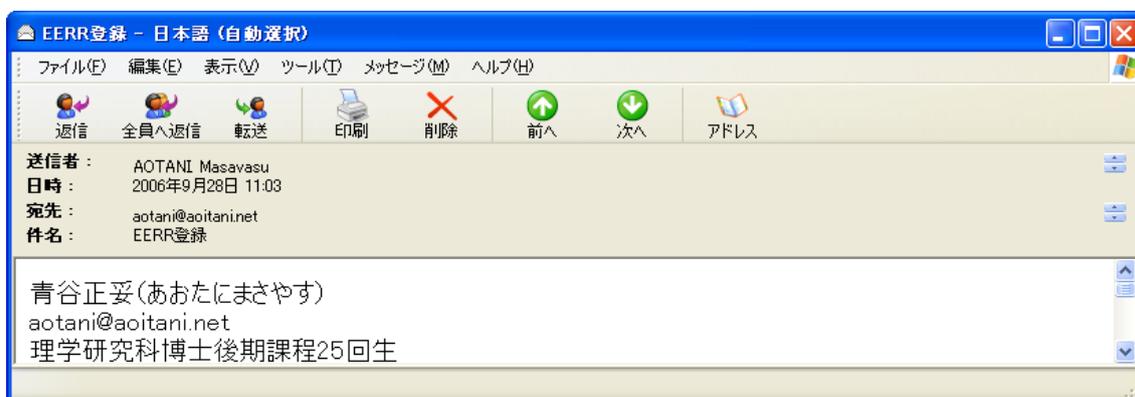
最凶のコンビネーション！！

Ranking	Country	Score
1	FINLAND	8.148
2	IRELAND	7.967
3	ISRAEL	7.843
4	SINGAPORE	7.738
5	ICELAND	7.600
6	USA	7.302
7	CHILE	7.254
8	AUSTRALIA	7.250
9	BELGIUM	7.150
10	SWITZERLAND	7.102
11	NETHERLANDS	7.049
12	AUSTRIA	6.867
13	CANADA	6.806
14	HUNGARY	6.750
15	NEW ZEALAND	6.526
16	DENMARK	6.414
17	PHILIPPINES	6.351
18	SWEDEN	6.211
19	CZECH REPUBLIC	6.203
20	TAIWAN	6.200
21	GERMANY	5.741
22	UNITED KINGDOM	5.700
23	NORWAY	5.567
24	FRANCE	5.473
25	INDIA	5.291
26	MALAYSIA	5.257
27	COLOMBIA	5.200
27	POLAND	5.200
29	BRAZIL	5.125
30	SOUTH AFRICA	5.119
31	PORTUGAL	5.000
32	SPAIN	4.943
33	TURKEY	4.921
34	HONG KONG	4.917
35	THAILAND	4.738
36	RUSSIA	4.732
37	MEXICO	4.707
38	LUXEMBOURG	4.522
39	ITALY	4.376
40	ARGENTINA	4.328
41	SLOVENIA	4.189
42	INDONESIA	4.163
43	KOREA	4.114
44	GREECE	3.878
45	CHINA	3.822
46	VENEZUELA	3.667
47	JAPAN	3.280

英語学習と留学の Mailing List

EERR というリストがあります。情報提供や英語・留学関係の講義・行事・説明会の告知には本当に苦勞しています。ぜひこのリストに載って頂けませんか。青谷や国際交流センターからの配信だけで、月に7,8通です。登録承認は名前確認を兼ねて僕がやりますが、退会は各自で自由に出来ます。

1. **僕のトップページ <http://aoitani.net/>の登録ボックス**を使う(推奨)か、
2. **件名に「EERR 登録」と書き、本文一行目に名前(よみがな)、二行目に登録 address、三行目以下に所属を書いて aoitani@aoitani.net まで連絡を下さい。こうです。**



携帯は字数と添付制限の問題で歓迎しません。「どうしても」と言う人には

- a. 本文が途中で切れても添付ファイルが見られなくても知りません
- b. 「あれは何でしたか」と青谷に聞きに来ないで下さい(個別説明をしていますがリストの意味が無くなります)

との条件で携帯 address を登録しています。その際でも、携帯とパソコン両方の addresses を同時に登録して下さい。

最後に一言。研究・勉強には普通の computer を使いこなす事が肝要です。こと computer の使用に関しては、日本は完全に田舎で、Singapore や韓国にもぼろ負け状態です。本物のネットを本物の machine で使う事を覚えて下さい。宜しく御願います。

あおたにまさやす
青谷正妥

Phone: 753-2568, Fax: 753-2509, URL: <http://aoitani.net/>, ブログ:

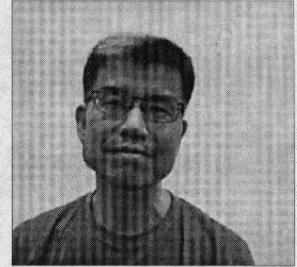
<http://ameblo.jp/aoitaniblog/>



TOEFL
Internet-based Test Examinee Score Report
for the Test of English as a Foreign Language

Test Date: 21 Jul 2006
Sponsor Code:
Inst. Code: Dept. Code:

Registration Number: 0000 0000 0243 3988
Name: AOTANI, Masayasu
Gender: M Native Country: Japan
Date of Birth: 25 Apr 1954 Native Language: JAPANESE



M02371

000220

AOTANI, Masayasu
Kokusai Koryu Center
Kyoto University
Sakyo-ku Yoshida-honmachi
Kyoto, Kyoto 606 8501
Japan

TOEFL SCALED SCORES	
Reading	30
Listening	30
Speaking	30
Writing	30
Total Score	120

The face of this document has a multicolored background – not a white background.

60

TOEFL

Computer-based Test
Examinee's Score Record
for the Test of English as a Foreign Language



Appointment Number 8860 0000 0024 6598

AOTANI, MASAYASU
NAME (Family or Surname, Given, Middle)

12/17/2002 Month/Day/Year Test Date	08605 Test Center Number	04/25/54 Month/Day/Year Date of Birth	M Sex
4833	72	JAPAN	
4837	72	Native Country	
2672	72		
5814	62	JAPANESE	
Institution Code	Department Code	Native Language	



TOEFL Scale Scores			
30	30	30	300
Listening	Structure/ Writing	Reading	Total Score

Essay Rating 6.0

Examinee's Mailing Address:

AOTANI, MASAYASU
RYUGAKUSEI CENTER KYOTOUNIV
YOSHIDAHONMACHI SAKYO-KU
KYOTO-SHI KYOTO 6068501
JAPAN

XXXX Sponsor Code	2 Degree	6 Reason for Taking TOEFL
----------------------	-------------	------------------------------

70

Test of English as a Foreign Language • PO Box 6151 • Princeton, NJ 08541-6151 • USA

TOEIC

Test of English for International Communication

OFFICIAL SCORE CERTIFICATE

REGISTRATION NUMBER (受験番号) NAME (氏名)

DATE OF BIRTH (生年月日)

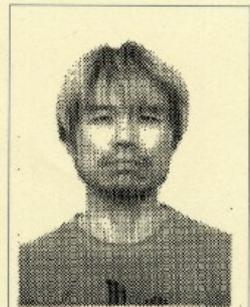
0111051-9

AOTANI MASAYASU

1954/04/25

The 95th Administration - November 24, 2002

SCALED SCORES			PERCENTILE RANK
SECTION I (LISTENING)	SECTION II (READING)	TOTAL	
495	495	990	100.0



財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会
TOEIC運営委員会
東京都千代田区永田町2-14-1
山王グランドビル

ETS
Educational Testing Service



The Chauncey Group
International
President
Judith D Moore
Judith Moore

EXAMINEE'S SIGNATURE (署名)

[Signature]

The Chauncey Group International is a subsidiary of Educational Testing Service, Princeton, NJ, U.S.A.
THE CHAUNCEY GROUP and its design logo are registered trademarks of The Chauncey Group International, Ltd.
EDUCATIONAL TESTING SERVICE, ETS, and its logo, as well as TOEIC and the TOEIC style mark, are registered trademarks of Educational Testing Service.